

夜釣りの注意点



1. 釣った魚には注意が必要です！

スズキや、クロダイのように、メジャーな魚でも、エラがカミソリのように薄いため、うっかり素手でつかむと手を切ることがあります。

アイゴや、オコゼ、ミノカサゴ、ゴンズイなどは、ヒレに毒をもっています。

ヒレの硬いハリに毒があり、刺されると、なかなか痛みがひかず、腫れ上がり大変な目にあいます。

投げ釣りでよく釣れる魚に、アカエイがありますが、この魚も尾に大きなドゲがあり、毒をもっている所以要注意です。

夏から秋にかけて釣れるタチウオ。非常に鋭い歯を持っていますので、ハリを外す際には注意して外しましょう。

もし思わず「ん？」と首をかき上げてしまうような、魚が釣れてしまった場合、仕掛けを惜しむのではなく、ハリスをハサミで切りましょう。

仕掛けなら作り直せば済みますが、釣りをしていて怪我をすれば釣りどころではありません。

何も知らずに子どもが触って刺されたり、踏んだりして怪我をすることがありますので、釣りのマナーは守るようにしましょう。

初めて行く釣り場の場合は、明るいうちにいった釣りの準備をしておき、また、周りの地形などを見て危険な場所も把握しておきましょう。

2. ヘッド・ライトは、夜釣りに便利で、ついライトをつけてしまいがちですが、海に向かってライトをつけるのは厳禁です。

うっかり海面を照らしてしまうと、魚種によっては魚が逃げ、他の釣り人にも迷惑です。

必ず、背を海に向けてからライトを照らすようにします。

また、防波堤などで、ライトをつけて歩きまわるのもやめましょう。

3. 仕掛けなどの釣具は、リュックなどに、ひとまとめにして周りに散乱ないようにしましょう。

足もとが危険なのと、自分だけでなく他の釣り人にも迷惑をかけてしまいます。

多少不便ですが、道具類は足元ではなく少し高いところに置くようにしましょう。

4. 昼間、どんなに暑くても、夜は気温が下がります。特に秋から冬の海はかなり冷え込みます。

防寒対策を十分にしましょう。

5. 防虫対策も忘れずに。

夏の夜釣りには、蚊がつきものです。あちこち刺されて、痒くては釣りになりません。

蚊取り線香や虫除けスプレーは欠かせません。刺された時ように塗り薬などがあっても便利です。



ヒレなどに毒を持つ魚



アイゴ



オコゼ

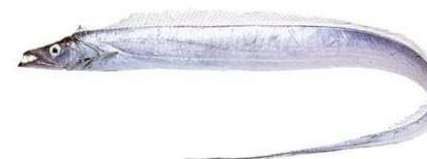


ゴンズイ



アカエイ

鋭い歯に注意！



タチウオ

